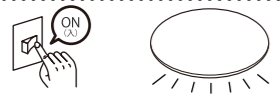


明かりをつける

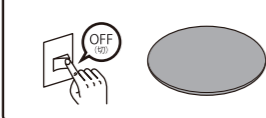
壁スイッチで操作する

■壁スイッチで明かりをつける

壁スイッチ ON：点灯（ラストメモリー）
壁スイッチを切る前の明かりを再現します。
※点灯と消灯の時間が30秒未満のときは機能しません。

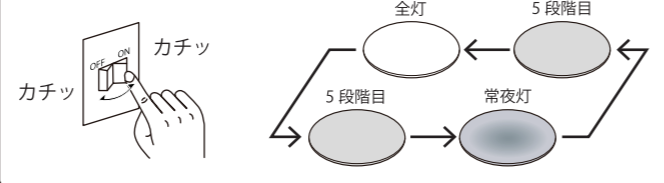


壁スイッチ OFF：消灯
消灯します。



■壁スイッチで点灯状態を切り替える

壁スイッチをONにした状態で、短く（3秒以内）スイッチを操作することで、点灯状態を切り替えることができます。



⚠ 壁スイッチをONにしても点灯しない場合は、壁スイッチを短く（3秒以内）操作して点灯状態を切り替えるか、壁スイッチをONにしてリモコンで点灯してください。

リモコンで操作する

①壁スイッチを「ON」にする



②リモコンを本体に向けてボタンを操作する

■明かりをつける

切/入ボタン

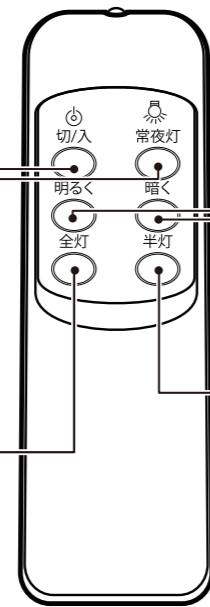
リモコンで消灯させる前の明かりを点灯させたり、消灯させたりします。

常夜灯ボタン

常夜灯を点灯させます。消灯させるときは、切/入ボタンを押します。

全灯ボタン

レベルMAXの明かりで点灯します。



■明るさ変える

シーリングライトの明るさを調節します。
※調光10段階（常夜灯を含む）

調光ボタン [明]

明かりを1段階明るくします。

調光ボタン [暗]

明かりを1段階暗くします。

調光ボタン [暗]

レベル5の明かりで点灯します。

故障かな?と思ったら

使用中に異常が発生した場合は、修理を依頼される前に本書をよくお読みのうえ、下記の点を確認してください。

状態	考えられる原因	処置
リモコンで照明器具が操作できない	リモコンの電池が正しく入っていない。 リモコンの電池が消耗している。	電池を正しく入れてください。 新しい電池に交換してください。
照明器具が点灯しない	壁スイッチがOFFになっている。	壁スイッチをONにしてください。
壁スイッチをONにしても点灯しない	照明器具が「消灯」状態になっている。	「壁スイッチで操作する」を参照し、壁スイッチを短く（3秒以内）操作して点灯状態を切り替えるか、壁スイッチをONにしてリモコンで切り替えてください。
操作していないのに明かりがついたり、変わったりする	短い停電などにより、「壁スイッチで点灯状態を切り替える」機能が働き、点灯状態が切り替わることがある。	ご使用にならない時は、壁スイッチをOFFにしてください。 「壁スイッチで操作する」を参照し、壁スイッチを短く（3秒以内）操作して点灯状態を切り替えるか、壁スイッチをONにしてリモコンで切り替えてください。

⚠ **警告** ご自分での分解・修理・改造はおやめください。

仕様

※LEDモジュールの設計寿命は40,000時間です。LEDが点灯しなくなるか、光束が70%に低下するまでのいずれか短い時間を推測したもので、製品の寿命は保証するものではありません。

※商品の仕様は予告なく変更することがあります。

品番	消費電力	器具光束	定格電源電圧	定格電源周波数	待機電力	サイズ	質量
KCL-12J	49W	5250lm（最大点灯時）	AC100V	50/60Hz	1W	φ約45.0×H(高さ)10.5cm	約1.15kg

LEDシーリングライト KCL-12J

この度は、弊社製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。

- 使用する前に「安全上の注意」を必ずお読みください。
- この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- この取扱説明書はお使いになる方がいつでも見ることができるよう大切に保管してください。
- 「保証書」は、「お買い上げ日」「販売店名」の記入を必ず確かめ販売店からお受け取りください。

保管用

●使用環境：一般屋内

この商品は、海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY.

安全上の注意

安全にご使用いただくために下記の事項を必ずお守りください。

図記号の意味

⚠ 警告や注意を示す記号です。

🚫 禁止を示す記号です。

❗ 必ず行うことを示す記号です。

警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う恐れがある内容を示しています。

⚠	改造や部品交換をしない 落下・感電・火災などの原因になります。
🚫	調光器を使用しない 破損や発煙の原因になります。
🚫	可燃物で覆わない 可燃物を被せたり、近づけたりしない 火災の原因になります。
🚫	取り付けできない天井・配線器具に取り付けけない 「取り付けできない天井・配線器具」に記載された場所や配線器具には取り付けしないでください。落下・火災などの原因になります。（配線器具の交換は電気工事の資格が必要です）
❗	取り付けは確実に 落下・破損・けがの原因になりますので、本書に従い確実に取り付けてください。
❗	異常を感じたら速やかに電源を切る すぐに電源を切り、お買い上げの販売店またはサービスセンターへお問い合わせください。
❗	交流100Vで使用する 火災・感電の恐れがありますので、定格電圧以外では使用しないでください。
❗	清掃・取り付け・取り出しの際は必ず電源を切る 感電の原因になります。

注意

誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

🚫	LED光源を直視しない 目を傷つける原因になることがあります。
🚫	点灯中・消灯直後は、照明器具に触れない やけどの原因になります。
🚫	破損した場合は使用しない。 落下してけがの原因になります。 破損した場合は修理を依頼してください。
🚫	温度の高い場所で使用しない。 火災の原因になります。
🚫	屋外や湿気の高い場所で使用しない 故障や感電の原因になります。
❗	水洗いをしない 火災・感電の原因になります。 「お手入れについて」を参照し、水につけたり、水をかけたりしないで清掃してください。
❗	薬品を使用しない 変形・火災の原因になります。 殺虫剤、カビ取り剤などをかけないでください。
❗	1年に一回は自主点検を実施する 長期間の使用による発煙・発火・感電などの事故を防ぐため、別紙保証書の「チェックシート」を参照し、定期点検を実施してください。 設置後8年～10年経つと、自然に内部劣化が進みます。

ご使用についてのお知らせ

- 1個の壁スイッチで2台以上の照明器具を操作しないでください。同時に切り替わらないことがあります。
- 付属のリモコンは本照明器具専用です。他のリモコンを使用する機器（テレビ等）には使用できません。
- 点灯直後や明るさを切り替えた直後などに、リモコン信号を受信しにくくなる場合があります。その際は少し時間を置いて、再度リモコンを操作してください。
- 3Dテレビを視聴している時は、本照明器具のリモコンが操作しにくくなる場合があります。
- 天井や壁、床の材質によっては、リモコンが操作しにくくなる場合があります。
- ラジオ、ワイヤレス機器はなるべく照明器具から離して使用してください。
- 本照明器具はリモコンで消灯しても、約1Wの電源を消費しています。長時間使用しない場合は、壁スイッチを切ってください。
- LED照明は、同じ型式・形状の商品でも商品ごとに発光色・明るさが異なる場合があります。
- 照射距離が近い場合、照射面でも光むらが出る場合があります。
- 本照明器具は、LED光源が内部に組み込まれているため、LED光源の交換はできません。
- 停電復帰時や、予期せずにごく短時間の停電が発生した場合、点灯状態が変わることがあります。
- 充電電池をリモコンに使用しないでください。操作できないことがあります。
- エアコン吹き出し口近くへ設置など、温度が高くなる機器の近くに設置しないでください。また、真下にストーブやコンロなどの発熱機器、温度が高くなる機器を設置しないでください。故障の原因になります。
- 防犯カメラやビデオカメラを介して照射めんを見た際、カメラのモニターや録画画像に縞模様やちらつきが見える場合があります。

【ご質問・修理依頼・部品のご注文等は下記のお電話番号にお問い合わせください】

発売元

株式会社 KOM

〒815-0031 福岡県福岡市南区清水 3-4-4

サービスセンター

TEL：0120-05-1783

※受付時間：9：00～17：00（土・日祝日除く）

Eメール：info@kom408.com

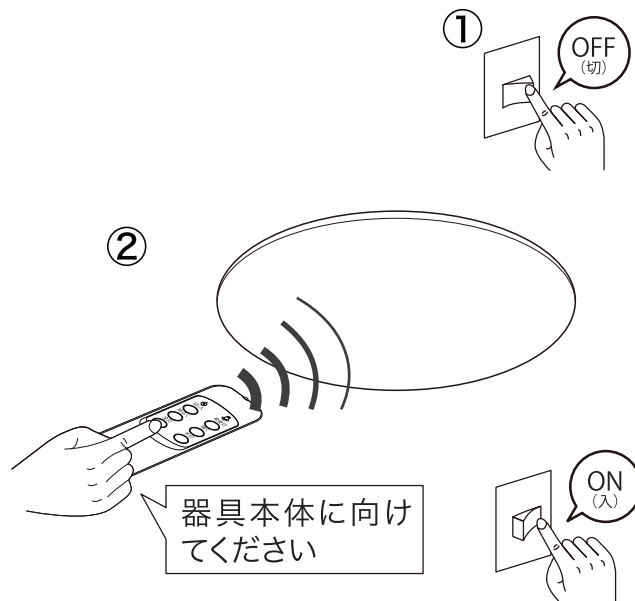
ペアリング方法

複数のシーリングライト(KCL-12J)を一つのリモコンで操作するときや、リモコンで操作しても作動しないときに、下記の手順をお試しください。

【壁スイッチがあるお部屋に設置する場合】

- ①壁スイッチをOFFにします。
- ②全灯ボタンを押し続けた状態で、リモコンをシーリングライトに向け、壁スイッチをONにします。
- ③約3秒経過すると、ライトが一度だけ点滅し、ペアリングが完了します。
- ④最後に全灯ボタンから指を離します。

※こちらの手順でペアリングできないときは、次項をお試しください。



【壁スイッチがないお部屋に設置する場合】

- ①カバーを取り外します。
- ②本体とアダプタのコネクタを外します。
- ③全灯ボタンを押し続けた状態で、リモコンをシーリングライトに向け、本体とアダプターのコネクタを差し込みます。
- ④約3秒経過すると、ライトが一度だけ点滅しペアリングが完了します。
- ⑤最後に全灯ボタンから指を離します。

※こちらの手順でペアリングをおこなう際は、2名での実施を推奨します。

《共通の注意点》

※全灯ボタンはペアリング完了まで押し続けてください。
途中で指を離すとペアリングが出来ません。

